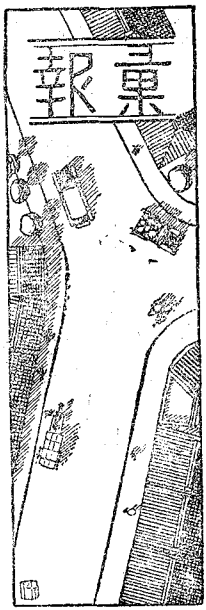

◎大正十五年度國庫補助の新事業

政府の道路改良費豫算は財政難の理由に依つて著しく削減され三百五十萬圓となつたことは當時報道したが、內務當局が此豫算を執行するに方つて、既定事業の補助を繼續するだけに止むるか、夫れとも有る限度に於て新事業を認むるかは吾人の重視する所であつたが、今回左記道路工事に對し新に補助することに決定し、次田內務省土木局長から各地方長官に通知した。豫算を削減されても何とかして新規事業を起さんとする內務省の意見には賛成であつて、我國路政の爲欣快に堪へない。

路線名	改築區間	府縣名	工費總額	補助率	補助總額
一號	自清水市 至靜岡市	靜岡	二、〇五〇、〇〇〇 內軌道負擔 五一二、五〇〇	1/2	七六八、七五〇圓
一號	自川崎市（府縣界） 至横濱市郡市境界	神奈川	六八一、三五四	1/2	三四〇、六七七
二號	久世郡淀町 同郡御牧村立會 淀大橋	京都	六二〇、八三八	2/3	四一三、八九二
同	綴喜郡美豆村立會 同郡八幡町 御幸橋	同	四九六、四八七	2/3	三三〇、九九一
十八號	葛野郡京極村立會 同郡桂村立會 桂橋	同	三八二、六七五	2/3	二五五、一一六

六號	千葉縣東葛飾郡我孫子町立會 茨城縣北相馬郡取手町利根川架橋	千葉 茨城	一、四三〇、〇〇〇	橋 道	3/4 1/2	一、〇四七、九〇四
十號	新潟市流作場立會 礎萬立會 萬代橋	新潟	二、四〇〇、〇〇〇 內軌道負擔 六〇〇、〇〇〇		2/5	一、二〇〇、〇〇〇
一號	濱名湖架橋	靜岡	一、五三五、六六〇	橋 道	3/4 1/2	一、〇七六、八二五
四號 六號	猿島郡古河町古河字臺町地內 水戶市上市字柳町地內	茨城	一五、二四七		1/2	七、六二三
九號	埼玉縣北足立郡戸田村立會 東京府北豐島郡志村戸田橋架換	埼玉 東京	一、四五五、三五九	橋 道	2/3 1/2	九五〇、一四〇

◎土木主任官會議招集

每年內務省に於て開かるべき府縣土木課長會議は、六月末招集さるゝことに內定したそうである、聞く所に依れば路政に付同會議に附議さるゝものは左の通りである。

訓示

一　一定の計畫に基き道路改良工事を執行するの件

二　軌道監督の勵行に關する件

指示

一　道路事務の簡捷に關する件

二　道路の簡易鋪裝の普及に關する件

諮問

一　指定府縣道の決定に關する件

二　無軌條式電車施行規則

三　土地收用法中改正法律案

協議

一　國庫補助道路工事竣功認定樣式に關する件

千九百二十五年に於ける米國主要都市各種鋪裝道路統計

米國に於て一九二五年中全國の主要なる七百五十都市に於て施行せられたる補裝工種及面積をあぐれば次の如し

工種	面積(單位坪)	百分率
シート・アスファルト	二、五二一、七一七	二三、九三
アスファルト混凝土	一、一四七、〇八五	一〇、九八
ウォーレナイト・ピチ ユリシツク	五八七、〇二六	五、五七
ヴイブロリシツク	一七九、〇五八	一、七〇
アミサイト	一六、九四〇	、一六
アスファルト・ブロツク	五六、〇四五	、五三
ウキーライト	一七六、二二七	一、六七
石塊	一一五、〇四九	一、〇九
煉瓦	四六六、四五〇	四、四三
ロツク・アスファルト	一四二、八五三	一、三六
瀝青マカダム	六八四、六五七	六、五〇
水締マカダム	六五五、四五三	六、二二
砂利	四一七、八〇九	三、九六
混凝土歩道	八三六、五三三	七、九四
鐵筋混凝土	一、一六一、四六五	一一、〇二
混凝土	一、三六四、一三一	一二、九四
計	一〇、五三八、五〇五	一〇〇、〇〇

一九二四年鋪裝合計　七、一五〇、六五五

その他の特種なる工種をあぐれば次の如し

木塊	二、八九〇坪
シンダー	二五四
水締粘土砂利	七、一二三
シンダー油	四四、八〇〇
瀝青乳劑	三、三〇〇
カイロツク	二、七五〇
ローレナイトアスベスト	五、四〇三
アスベストフアルト	六九二
ベツソナイト	一、一五七
ヂユラツクス	一、六五三
チヤート	三、七五〇
ナショナル	一、四三七
シエル	二、六四〇
トツプソイル	四、六六四
フラツシユコート砂利	一、二五〇
フラツシユコートマカダム	

（パブリツクチークス二、三月號）

◎酒匂橋竣功式

東海道は神奈川縣酒匂川に架す酒匂橋が竣功し、去る五月二十一日午前十時橋畔の松濤園で竣功式が擧行せられた、本橋は大正十二年七月一度竣功し開通したのであるがかの大正十二年九月の大地震に遭ひ、竣功後僅に四十一日にして混凝土が固化するに至らず、破壞してしまつた因緣のよくない橋である、夫れで此度の架橋に就ては神奈川縣に於て愼重に調査し前の失敗に鑑み、耐震荷重等も十分に考慮し復舊改築計畫を樹て、再び國庫の補助を得て昨年二月工を起し工程も滯りなく進捗し、玆に竣功式を擧ぐる運となつたのである、此の永久的構造橋の落成を祝福するため企てられた地方民の種々な催しが、雨天の爲め中止するの已むなきに至つたのは遺憾であつた。當日は內務大臣代理鈴木參與官を始め多數の官民が雨天に拘らず來會し、本會よりは特に都築幹事臨席し會長の祝辭を代讀した。

尙工事概要並知事其の他各方面から寄せられた祝辭は左の通である。（貞雄）

酒匂橋工事概要

一　路　線　國道第一號線
二　位　置　酒匂川筋　足柄下郡酒匂川村大字酒匂
三　橋　長　百九十七間
四　橋　幅　有効巾二十四尺　全巾二十六尺
五　勾　配
　橋面　縱斷勾配約二百五十四分ノ一（反リ）三尺拋物線形
　橫斷勾配、六十分の一
六　構　造
（イ）形　式　上路式鋼鈑桁橋
（ロ）徑　間　七十二尺　十五連　五十一尺　二連
（ハ）主　桁　鋼鈑桁高五呎六吋長七十一呎五吋及高五呎六吋長五十呎七吋中心距離十八呎二條
（ニ）床　桁　鋼鈑桁高二呎長十七呎十一吋八分ノ五
　I形鋼　高十二吋　四條
（ホ）小　桁　I形鋼　高八吋　二條

（ヘ）床　版　鐵筋コンクリート　厚五寸

（ト）高　欄　笠石ハ稻田産花崗石、他ハ鐵筋コンクリート橋面上高三尺三寸

（チ）親　柱　稻田産花崗石三尺角路面上高九尺三寸

（リ）照明裝置　親柱四基及高欄上の燈柱十六ケ所ニ電燈ヲ備フ

（ヌ）橋面鋪裝　「ソリデチット」工　厚一寸五分

（ル）橋　脚　鐵筋コンクリート高十八尺十六基　基礎鐵沓付徑十尺コンクリート井筒二本宛根入十八尺

（ヲ）橋　臺　コンクリート高二十尺九寸五分

七　前後摺付道路　延長百八十四間　幅五間五分

勾配五十分ノ一—二百五十分ノ一

八　工事費　金參拾貳萬六百六圓也

祝辭

酒匂橋改築功ヲ竣ヘ玆ニ落成ノ式ヲ擧ケラルルハ邦家ノ爲慶ニ欣慶ニ堪ヘサルナリ

由來一號國道ハ我國幹線道路トシテ最モ重要ノ地位ヲ占メ殊ニ本橋ノ在ルトコロ近ク箱根熱海等景勝ニ富メル溫泉地ヲ控ヘ交通極メテ滋キモノアリ今精緻ナル規畫ノ下ニ本橋ノ改築成ルヲ見ル念フニ近ク竣成セムトスル馬入花水兩橋ノ改築ト相俟テ交通上一段ノ利便ヲ進メ地方ノ開發產業ノ發展ニ資補スル尠少ナラサルヘシ冀クハ地方官民諸子之カ管理維持ニ力ヲ致シ以テ長ニ其ノ效果ヲ收メラレムコトヲ一言述ヘテ祝辭トス

大正十五年五月二十一日

內務大臣　若槻禮次郎

祝辭

酒匂橋改築功ヲ竣ヘ本日玆ニ開通ノ式ヲ擧クルニ當リ所懷ノ一端ヲ述フルヲ得ルハ余ノ最モ欣幸トスル所ナリ

惟フニ文化ノ發達ハ交通機關ノ整善ニ依ルモノ極メテ大ナルモノアルハ固ヨリ言ヲ俟タス本橋所屬ノ一號國道ハ我邦路線中最モ重要ナル幹線道路ニシテ東ニ帝國ノ關門橫濱ヲ控ヘ西ニ函嶺ノ諸溫泉ヲ擁シ靜岡縣ニ通スル要衝タルノ地位ヲ占ム而シテ今ヤ新ニ耐震ノ完全ヲ期セル架橋其ノ工成ルヲ告ク洵ニ時運ノ要求ニ適應セルモノニシテ其ノ交通上竝產業經濟上ニ及ホス効果決シテ尠少ナ

ラサルヲ信ス

冀クハ將來之カ維持管理ニ力メ以テ國運ノ發展人生ノ福祉ニ資補セラレムコトヲ

大正十五年五月廿一日

道路改良會會長　水野錬太郎

式辭

國道一號線酒匂橋架設工成リ茲ニ內務大臣閣下ヲ始メ多數貴賓ノ貴臨ヲ辱フシ開通ノ式典ヲ擧クルヲ得ルハ洵ニ欣幸トスル所ナリ抑本橋ハ東海道ノ要樞ニ當リ運輸交通極メテ重要ナル地位ヲ占ムルニ拘ハラス曩年ノ大震災ニ際シ施設悉ク破壞セラルヽヤ縣ハ直チニ臨機救濟ノ途ヲ講シ焦眉ノ急ヲ極拯フト共ニ之カ復舊ノ計畫ヲ樹立シ以テ臨時縣會ノ決議ヲ經國庫補助ノ下ニ客年二月工ヲ起シ爾來銳意刻苦工程ノ進捗ヲ圖リ今ヤ堅牢ニシテ宏壯ナル新橋ノ成レルヲ見ル

惟フニ本橋ノ竣成ハ今後久シキニ亘リテ交通ヲ安泰ニシ運輸ヲ利便ナラシメ以テ地方產業ノ發達福利ノ增進ヲ促シ延ヒテ國運ノ進展ニ資スル所蓋シ尠少ナラサルモノアラム

冀クハ沿道關係ノ諸氏將來益生業ニ勵ミ以テ其享ク所ノ惠澤ニ酬イムコトヲ

聊カ所懷ヲ述ヘテ式辭トナス

大正十五年五月二十一日

神奈川縣知事正五位勳四等　堀切善次郎

祝辭

酒匂橋架橋工事茲ニ竣工ヲ告ケ本日ヲトシテ開通ノ式ヲ擧クルニ至レルハ洵ニ慶賀ニ堪ヘサル所ナリ

抑モ本橋ハ曩ニ竣工シタル六鄕橋竝ニ近ク竣工セムトスル馬入橋ト共ニ縣下國道一號線ニ架スル所謂三大橋ノ一ニシテ我カ國東西兩地域ヲ連絡スル極メテ重要ナルモノニ係リ交通運輸上須臾モ缺クヘカラサルトコロノモノタル故ヲ以テ縣ハ大正十二年七月工費二十三萬餘圓ヲ以テ本橋ノ架設ヲ見タルモ僅數旬ヲ出テスシテ彼ノ大震災ニ遭ヒ不幸全潰ノ厄ヲ被リ其ノ不便眞ニ言フニ忍ヒサルモノアリ依テ縣ハ更ニ大正十三年四月臨時縣會ノ議決ヲ經有効幅二十四尺延長約二百間ニ達スル宏壯優美ナル上路式鋼板桁橋ト爲シ昨年二月工ヲ起シテヨリ以來今日ニ至ル十有五箇月ノ日子ヲ費シテ工費三拾二萬餘圓ノ巨資ヲ投シ銳意本橋ノ完成ヲ見ルニ至リシモノニシテ其ノ結構正ニ東海道ノ一偉觀タルヲ失ハス今後之カ

維持管理ヲ怠ラスムハ絶對ニ出水等ニ因ル交通杜絶ノ不安ヲ除キ永久安全ニ本國道ノ利用ヲ完ウスル事ヲ得ヘク延テ直接本縣ノ文化産業其ノ他ニ及ホス効果モ亦甚大ナルモノアルヘキヲ想ヒ欣快措ク能ハス一言ヲ述ヘテ祝辭ト爲ス

大正十五年五月二十一日

神奈川縣會議長　池上幸操

◎大具架橋陳情

德島縣三好郡三野町長外十二町村長より同郡大具町吉野川に架橋するの必要なるを述べ、之に對し國庫補助されたき左記陳情書を內務大臣に提出した。

三好郡大具架橋御指定並國庫補助御下附之義ニ付陳情

文化の進展産業の開發其の他國利民福の增進を圖るの方法は、多岐なるべしと雖も幾多先進地に於ける、各種發展の狀況を査察するに、其の原因の一として交通設備の完成に因るに非ざるはなし。

本縣に於ける我が國三大急流の一たる、吉野川は其の源を遠く高知愛媛の兩縣に發し、長驅して本縣に入り本縣平野の大部分を領有する北方地方を縱斷して、德島に至り海に注ぐ其の流域約三十里幅員亦廣大にして、此の間に一の橋梁あるなく兩岸の交通は、今尙全部昔時の渡船式に依らざるなし、從て出水時に在りて交通杜絶數日に及ぶこと年幾回なるを知らず、爲に通信人馬の交通貨物の運輸に不利不便を感ずるは勿論、文化の進展産業の開發に及ぼす影響亦實に甚大なるものあり。

然るに縣民の久しき輿論たりし吉野川河口に於ける、古川橋及上流の白地橋は、政府多大の御同情に依り、國庫の補助を得て之が架設の運びに至りたるは、地方民の感激に堪へざる所なり。

而して前記上流の白地橋は、其地點本部內に屬し、之が完成の曉は本縣民は勿論四國縣民の蒙る恩惠多大なるものあるべしと雖も、熟に本郡の四國各縣に於ける、地理的關係を考察するに本郡は四國の中央に位し、四國各縣に通ずる交通路の中軸にして、人馬の交通繁く貨物の集散亦幅輳

し、殊に軍事上最も重要の位置に在り。

然るに白地橋を架設するも香川縣及本郡吉野川北岸との交通上に至りては、尚ほ不便不尠の恨みなしとせず、最も讃土鐵道線中香川縣琴平本郡池田町間は、大正十七年度を以て、開通するの豫定にして、之が開通の曉は遠距離旅客の交通貨物の運輸は、主として之に依るべしと雖も、發車度數及時間に自ら制限あるを以つて、近距離の交通者及貨物の運輸は、汽車を利用すること少かるべく、殊に男女中等學校は、何れも吉野川南岸池田辻の兩町に在りて、北岸町村より通學する生徒多く、又北岸箸藏村には、全國有名なる箸藏寺ありて四國中國及近畿に幾十萬の信徒を有し、毎年參詣する者幾萬なるを知らず十一師團工兵隊架橋演習用廠舍も、亦同村にありて夏期は工兵隊の來宿すること多く、近くは讃土鐵道箸藏停車場の設置を見んとし附近の交通は將來一層の頻繁を重ずるに至るや明かなり。

以上の實態より鑑み、又縣郡民多年の切望よりして、本縣及香川縣に通ずる國道筋渡河地點たる箸藏村大具渡しに架橋の必要は益々切なるものあるを認むるに至れる。

賢明なる總理大臣兼內務大臣閣下何卒前陳の事情御洞察の上、白地橋竣功の上は一日も早く、更に特別の御詮議を以つて前記大具橋の架設御指定の上、相當の國庫補助を下附せられ之が架設の實現を劃せられんことを切望に堪へず。右陳情す。

植田岳雪

德島縣板野郡松茂村豐久滿穗兩村民總出にて府縣道岡崎德島線を修理せるを視て

道作る捷は古く桃の里

德島縣板野郡松茂大手海岸堤工事從事して

夜をこめて潮止工や時鳥

飛ぶ千鳥霞段引淡路島

蒔たよう擴る舟や春の海